

○目的：小杉駅周辺地区まちづくり基本構想を策定するにあたり、地域のまちづくりに対する住民の意見や思いを把握し、計画に反映する。

○対象者：戸破地区、三ヶ地区の代表者  
(地域振興会役員、町内会長等、若手世代の代表者等)

地区名	参加者
戸破地区	41人
三ヶ地区	26人

○会議方式：4つのテーマ（まちづくりの4つの施策の方向性）を設定し、4つのグループに分かれて、1グループ1テーマについて、ワークショップ形式によるグループ討議を行った。

- 1 小杉駅を中心とした都市機能の集積とにぎわいの形成
- 2 安全性、利便性の高い居住環境の維持・充実
- 3 道路・公共交通ネットワークの強化
- 4 地域の豊かな歴史・文化、自然環境の保全と活用

○実施日：戸破地区（令和2年8月28日）、三ヶ地区（令和2年8月29日）

# 1 小杉駅を中心とした都市機能の集積と賑わいの形成

	現況・課題	対策の方向（将来像）
<p>(1) 小杉駅の駅舎及び周辺の低利用・未利用空間の有効活用による都市機能集積の誘導</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○商業施設や魅力等の不足               <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅に売店がない。キオスク等がなくなって駅が寂しい。</li> <li>・駅と周辺とのつながりがない。</li> <li>・駅周辺に若者が集まる所が少ない。学生が集まるような商店や飲食等のできる店がない。</li> <li>・富山福祉短期大学、富山情報ビジネス専門学校、市民交流プラザとをつなぐ道路に魅力がない。</li> </ul> </li> <li>○空き家・空き店舗の活用促進の問題               <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の具体的利用方法を検討すべき。</li> <li>・空き家、空き店舗が活用されるよう持ち主に知識と意識を高めてもらう。</li> <li>・商店街が出店しやすくする情報、補助等が不足</li> </ul> </li> <li>○その他               <ul style="list-style-type: none"> <li>・小杉駅の南北が車で往来できない。</li> <li>・旧8号からアルプラザに直行できない。</li> <li>・駐車場のない公共施設には行けない。</li> <li>・小杉駅周辺に機能を集約すると周辺地域が衰退することが心配（小杉駅に集約し過ぎないように広く考える。）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○駅の複合化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹駅として魅力あるテナントや設備の導入</li> <li>・駅舎の複合化（図書館等）駐車場の設置。多目的利用、イベント等ができる機能導入</li> <li>・駅の西側に図書館の設置</li> </ul> </li> <li>○空き家・空き地の活用、市街地整備等               <ul style="list-style-type: none"> <li>・サテライトオフィス、コワーキングスペース等整備し外から人を集める。（空き家の活用）</li> <li>・子どもが集まる場所の確保。</li> <li>・地籍調査を実施し市街地整備を進める。</li> </ul> </li> <li>○商店街ネットワークの形成               <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧商店街（北陸道）、駅南商店街、駅南線、東老田高岡線等をつなぎ、周遊できる商店街の輪を形成</li> </ul> </li> <li>○交通機能の強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪直行特急を再開できないか。</li> <li>・コミュニティバスのターミナルを駅北側にもってこれないか。</li> <li>・北側からアルプラザに直結する道路整備</li> </ul> </li> </ul>

# 1 小杉駅を中心とした都市機能の集積と賑わいの形成

	現況・課題	対策の方向（将来像）
（２）歩いて楽しい地域づくりの推進	<p>○歩行者の安全性の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅付近の道路の状態が悪く、歩行者と車の区別がない。細い路地が多く、危ないと感じる時もある。</li> <li>・踏切周辺道路が狭い</li> <li>・踏切信号待ちで旧 8 号線まで渋滞が及んでいる。</li> </ul> <p>○歩行者の快適性の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店の閉店時間が早く、まちが暗い。</li> <li>・飲食できる所、休める所が不明。休憩できる場がない（ベンチ、屋根付きスペース等）</li> <li>・下条川を綺麗にしたい。</li> <li>・小学生向けの店が少ない。</li> <li>・学生がアルバイトする店が少ない。（あれば学生の溜まりが期待できる。）</li> <li>・駅北側から南側へ歩いて行くのが大変。</li> </ul> <p>○学生のまちへの取り込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅から学校までの通学路を沢山の学生が歩いているが、どのようにしてまちに取り込むか。</li> <li>・県立大生が駅南からバス通学。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・線路の南北の道路が直線でない。</li> </ul>	<p>○歩行空間の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車道を狭めて歩道を広くする。</li> <li>・沿道緑化にを改善し、除草等の負担の少ないまち。（植栽の必要なところは残す。嫌なら残さない。メリハリを付ける。</li> </ul> <p>○歩行環境の整備（通り及び沿道地域の魅力の創出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちや通りを綺麗にし、花を多くする。</li> <li>・イベント（街歩き、体験）を実施する。</li> <li>・回遊性をもたせる。</li> <li>・AR（Augmented Reality：拡張現実）技術を活用してまちの説明をする。</li> <li>・町内にWi-Fiを導入する。</li> </ul>
（３）文教ゾーンとしての魅力づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的に有名な人が出ているのに地元の人知らない。</li> <li>・和文化と外国文化との融合が必要</li> </ul>	<p>○学生にまちに興味をもってもらう取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小杉高校を核としたまちづくりの仕組みを構築（高校生のうちから地域の暮らしや仕事を紹介し地域に親近感を持ってもらう ⇒ 将来的にふるさとへ戻ってくることを期待）ビジネス専門学校にも小杉に興味を持ってもらう。</li> </ul>

## 2 安全性、利便性の高い居住環境の維持・充実

	現況・課題	対策の方向（将来像）
<p>(1) 市街地内の空き地・空き家等、低利用・未利用物件の有効活用</p>	<p>○空き地、空き家の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の空き地、空き家の把握。今後10年、20年後に空き家となる地域の予測。</li> <li>・現状の空き地、空き家の所有者がわからない。現状無責任 ⇒ 責任の明確化</li> <li>・空き地、空き家発生の原因を把握する必要。</li> </ul> <p>○空き地、空き家の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家が増えると治安が悪くなる。</li> <li>・地権者の問題がある。管理が大変。利用しづらい面もある。</li> <li>・空き家化しても家主である高齢者は情報発信の手段がわからない ⇒ 不動産屋が仲介してくれると良い。</li> <li>・同居する部屋がない。あっても同居しない。新しい住所に出て行ってしまう。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道幅が狭いから土地が使い難い。</li> <li>・車の駐車スペースがない。コミュニティセンターの駐車場が少ない。</li> <li>・北部線の北側（市街化調整区域のため）土地の活用ができない。</li> </ul>	<p>○空き家の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の持ち主に市から連絡を入れてもらって、将来の予定等を聞き出す。</li> <li>・空き家にもっと高い税金をかける（更地よりも税金が安いのが放置の要因の一つ）</li> </ul> <p>○空き家の利活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リフォームして若者に貸出。空き家情報の提供。</li> <li>・子育て世代が集うことができる場の整備。</li> <li>・地域の高齢者等が集うことができる場を提供し、コミュニティの場にする。</li> <li>・移住希望者（市が仲介）、芸術家等に貸出。</li> <li>・空き家、古民家を活用し、短期間の出店、貸出（ハンドメイドの店等）。市外の人にも貸し出す。</li> </ul> <p>○土地として活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家を更地にする。</li> <li>・駐車場がないと店にも寄れないため、空き地は駐車場に整備。</li> <li>・旧北陸街道の保全エリアを決めて、その他の空き地、空き家の地域を区画整理して新しいまちをつくる。</li> </ul>

## 2 安全性、利便性の高い居住環境の維持・充実

	現況・課題	対策の方向（将来像）
(2) 生活道路の改善整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全性、バリアフリー等の問題</li> <li>・生活道路が狭い。車が通れない道がある。</li> <li>・駅周辺は障がい者にやさしくない。（点字ブロックが駅から旧8号線までしか設置されていない）</li> <li>・訪問する外国人に親切でない。外国語表記の標識・案内板が少ない。</li> <li>・北部バイパス。横断歩道は信号のある所のみ。</li> <li>・信号機のない横断歩道（車が止まってくれない。通学時等危険である）</li> <li>・信号が道路によって長い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道路空間の拡幅整備</li> <li>・道路沿いの排水路に蓋をして道路として活用。側溝の有蓋化はまだ未完了の箇所が多い</li> <li>・歩道付き道路整備</li> <li>・生活道路の拡張（旧町内）計画を提示（空き地、空き家を把握して区画整理等）</li> </ul>
(3) 地域コミュニティの維持・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新旧住民の交流・コミュニケーションの希薄化の問題</li> <li>・アパートの増加により戸建て住民とアパート住民との交流が希薄化。</li> <li>・昔からの住人と新築アパート住人（県外者多い）とのコミュニケーションがとれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若者の参加を取り込む祭りの拡大</li> <li>・祭りの拡大。みこしまつり リニューアルして若い参加者を取り込む。</li> <li>・駅前広場の拡張（イベント等ができる場所の確保）</li> </ul>
(4) 災害対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水害対策</li> <li>・線状降水帯による集中豪雨に備えた保水力の向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時避難対策</li> <li>・避難所の確保。</li> <li>・高齢者との連携をもっと密に。</li> <li>○雪対策</li> <li>・雪対策（道路の拡幅、消雪装置の充実）</li> <li>・市道と県道の除雪連携（市道と県道交差点で雪が溜まる）</li> <li>○その他</li> <li>・下条川の浚渫。樹木の伐採</li> <li>・空き地の管理の徹底</li> </ul>

### 3 道路・公共交通ネットワークの強化

	現況・課題	対策の方向（将来像）
<p>(1) 小杉駅における多様な2次交通機能の乗り入れ拡充と乗り継ぎの利便性の向上</p>	<p>○バス、タクシーの利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの直通化、速達性を検討してほしい。</li> <li>・高齢者が利用しやすいタクシー（乗り合い、割引料金）</li> <li>・バス・タクシー会社以外の乗合車両システムができないか。</li> </ul> <p>○乗換え案内の表示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小杉駅内に2次交通乗換えの案内表示が少ない。</li> <li>○その他</li> <li>・駅駐車場をもっと広くしてほしい。</li> <li>・小杉駅をハブとして魅力あるものにするにはアルプラザをテコ入れしてもらう必要がある。</li> </ul>	<p>○駅前（南北）駐車場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅南北駐車場の拡大（無料駐車場を増やす）</li> </ul> <p>○コミュニティバスの運行改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸のハブ機能として、コミュニティバスの系統を回遊型から往復型にする。</li> <li>・コミュニティバスのバス停以外の認定の場所で可能にする。</li> </ul>
<p>(2) 周辺地域との公共交通ネットワークの強化</p>	<p>○バスルート、運行の再検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスのルート及び時間帯が利用者の希望と違うのではないか。</li> <li>・自動運転化が進めば、きときとバス等は減少する。</li> <li>・現在は横のつながりが希薄</li> <li>○その他</li> <li>・まち全体として自転車活用しやすい道路整備</li> <li>・鉄道横断南北路線の拡充</li> </ul>	<p>○新たな交通システム等の導入検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道のライトレール化</li> <li>・モノレールの設置（ルート例：新湊⇒小杉駅⇒太閤山⇒大学⇒婦中町⇒富山駅）</li> <li>・万葉線の延伸（高岡⇒新湊⇒小杉⇒高岡）</li> <li>○コミュニティバスの運行改善等</li> <li>・コミュニティバスの環状化（小杉－大門大島－新湊－下－小杉） <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停だけでなく、途中でも乗車できるようにする。</li> </ul> </li> <li>・コミュニティバスのデザイン統一（一目で分かる色等）、ネーミングライツ導入等</li> <li>○デマンドタクシーの拡充</li> <li>・デマンドタクシーの拡充（交通弱者への配慮が少ない）。バス本数の限度（ドア to ドアによる福祉サービス）</li> <li>○小杉駅からシャトルバスの運行</li> <li>・小杉駅から海王丸パークや太閤山ランドへつなぐシャトルバスがあれば便利（土日だけでも）</li> <li>○その他</li> <li>・小杉駅周辺のバス交通円滑化のための踏切の拡幅（法整備必要）</li> <li>・駅の徒歩範囲に市の窓口、（大きめの）病院及び各種施設の導入</li> <li>・公共交通利用促進効果に期待</li> </ul>

### 3 道路・公共交通ネットワークの強化

	現況・課題	対策の方向（将来像）
<p>(3) 鉄道を横断する南北交通の強化（人も車もスムーズに）</p>	<p>○南北連絡地下道の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の地下道の状況がよくない。南北については抜本的な対策が必要。</li> <li>・鉄道横断（人）現行地下道昼夜問わず不気味な雰囲気を利用者は少ない。</li> <li>・北口、南口をつなぐ地下道が不便。暗く、通りづらい。</li> <li>・橋上駅にする場合、核となる施設を何にするのか。単なるバリアフリー化であれば地下道にエレベータを付ければ済む。</li> </ul> <p>○道路幅員の狭隘の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体であるが道路が狭い。区画整理を行い安全な道路を造るべき。</li> </ul>	<p>○鉄道の高架化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道の高架化</li> <li>・駅の立体化（南北通り抜けがスムーズに行くよう、踏切渋滞をなくす。）</li> </ul> <p>○橋上駅舎化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小杉駅舎の橋上化で南北の移動をスムーズに。</li> <li>・橋上駅舎化のスピードupを最優先</li> <li>・橋上化のために積立金。</li> </ul> <p>○鉄道横断道路の立体化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道横断高架道路の整備。</li> <li>・アンダーパス化等、道路の立体化。</li> </ul> <p>○道路の拡幅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の拡幅（南北道路の強化、歩道設置。）</li> </ul> <p>○地下連絡道路の再整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下道の再整備（現状は暗くて危険）、地下街形成。</li> </ul>
<p>(4) 駅利用者への快適なサービス機能、もてなし機能の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史と文化のまちづくりをもっと意識したい。</li> <li>・県立大生を駅北に誘導する手だてを考えたい。</li> <li>・交通機関を便利にすることにより駅周辺の人が集まる。</li> <li>・旧北陸街道と下条川をセットにした魅力ある町おこしを発想した上でPRを幅広く県内外にアピールする。</li> </ul>	<p>○魅力的なサービス機能の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツタヤ図書館の誘致等（世代を問わず人を集める手段）</li> <li>・若者が集まりやすい機能整備（コンビニ、図書館、行政サービス）</li> <li>・駅に売店がほしい。</li> <li>・駅北にもアルプラザを持ってくる。</li> </ul> <p>○学生等が利用しやすい待合・交流機能の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェの整備（駅北側に）、学生が利用しやすいWi-Fi、市の設置</li> <li>・小杉駅南に学生や若者が利用できるカフェの整備</li> <li>・学生も多く利用しているので待合所の充実（学習スペース確保等）</li> </ul> <p>○観光案内機能の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅に観光案内所設置（観光ボランティアの取り次ぎもそこで行う）</li> </ul>

## 4 地域の豊かな歴史・文化、自然環境の保全と活用

現況・課題	対策の方向（将来像）
<p>(1) 旧北陸街道の街並み形成と歴史・文化遺産の活用</p> <p>○旧北陸街道の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧北陸街道の歴史的風情を活かしたまちづくりが必要ではないか</li> <li>・旧北陸街道の歩道が狭い。立ち寄れる店舗が少ない。</li> <li>・まちの中に情報発信が少ない。ペーパー、SNS（写真・動画）</li> <li>・空き家、空き地の増加 ⇒ 有効活用（高齢者の活動の場）。</li> <li>・鏝絵をもっとPRし、店舗や住宅で取り入れていくべき。</li> <li>・歴史文化、自然環境の維持費がかかる。</li> </ul> <p>○歴史文化への関心度の低さの問題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化遺産の認識がない。</li> <li>・旧北陸街道の荒町～中町、空き家、高齢化。歴史文化（アートin小杉、鏝絵、藤井右門等）が知られていない。</li> <li>・子どもの地元歴史への関心を深めることが大事。</li> </ul>	<p>○歴史文化遺産の発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧北陸街道の歴史文化遺産の周知（PR、説明・案内板、マップ等）</li> <li>・歴史文化資源の生活マップ（日常的活用）行事を紹介。</li> <li>・小杉駅から歩いて15分以内に寺が7か所、宮が2か所、藤井右門陵があり、駅からの周遊マップを作れば知らない人も散策する。</li> <li>・駅及び旧北陸街道を中心とした周遊マップを作成し駅に設置する。</li> <li>・土日等に旧北陸街道のボランティア説明者を駅に置く。</li> <li>・アートin小杉（小杉焼き、鏝絵等）の魅力・良さが子どもにも伝わるようにキャラクターの活用等。</li> <li>・歴史文化的資源の持っている価値を掘り起こし、整理するためのネットワークづくり（同業者、地元の人、専門家等）</li> </ul> <p>○コトを楽しませる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重なめずらしいもの沢山ある ⇒ アピールのためのブレーン（体制）がほしい ⇒ 人的ネットワークをクロスさせていく。</li> <li>・モノよりコト（ものづくり体験等の提供）小杉焼、鏝絵、木象嵌等を気軽に体験できるように、まとめてPR。コトがあふれるようにする。</li> <li>・誰もが参加できることが大事 ⇒ 地区のみんなで盛り上げ自分達で参加し楽しむ。</li> </ul> <p>○建物の維持・保存</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧北陸街道の建物の維持・保存（暮らしながら活用し、守る） ⇒ 支援（入居者の募集紹介、若い人の活用の機会）。</li> <li>・埼玉県川越市のような街並みを目指せないか。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧北陸街道を周遊するコミュニティバス等の運行</li> </ul>



## 4 地域の豊かな歴史・文化、自然環境の保全と活用

	現況・課題	対策の方向（将来像）
<p>(2) 下条川の親水環境・景観の充実</p>	<p>○下条川の景観</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下条川の水の浄化。</li> <li>・景観を全体的に綺麗にしていく。</li> <li>・下条川のありのままの歴史を物語化して情報発信する。</li> </ul> <p>○下条川の維持・管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下条川の維持管理が不十分。保全と維持管理が大事。</li> <li>・川沿い土手の除草が必要。</li> <li>・下条川沿いの散歩。休憩のための椅子等が老朽化し、壊れている</li> </ul>	<p>○下条川的环境改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下条川の桜の手入れ、川中の整備により少し改善する。</li> <li>・下条川の土手（コンクリート）⇒ 植生の改善。全体的に手入れする。</li> <li>・下条川沿いに、季節ごとに花が咲くように植栽する。（桜の開花時期に水仙が咲くよう毎年植えている。）</li> <li>・下条川の浚渫（集中豪雨への備え：浸水対策）</li> </ul> <p>○下条川の観光</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下条川の水辺遊覧観光（小杉～新湊内川まで）</li> <li>・新湊から遊覧船が来ているのに川底が浅く、川上へ行けない ⇒ 川底を浚渫して深くする。</li> <li>・新湊内川と下条川を通じて道の駅設置</li> </ul> <p>○下条川のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下条川の水質浄化と歴史等をありのままPR</li> </ul>

## 4 地域の豊かな歴史・文化、自然環境の保全と活用

	現況・課題	対策の方向（将来像）
<p>(3) 歩行者ネットワークの整備（歩いて楽しい歩行者空間及び沿道環境等の整備）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散策できる環境づくり（回遊性）</li> <li>・踏切に歩道がない。</li> <li>・子どもから高齢者まで楽しくぶらぶら歩ける環境づくり（歩道の確保踏切にも）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下条川を中心とする歩行者ネットワークの整備</li> <li>・下条川の整備（千本桜、照明灯、園路整備）。核となる市民交流プラザと連携活用。</li> <li>・親子で楽しめる広い公園（自然が多い）と駅をつなぐ ⇒ 駅とつながる公園・水辺の整備（人が集まる）。</li>   <li>○安全で障がい者にもやさしい歩行者ネットワーク整備</li> <li>・歩車分離を検討（子どもが安心・安全に歩ける歩道整備。旧北陸街道は道幅が狭く車が両方向通行で歩行者は危ない ⇒ 一方通行化。</li> <li>・竹内源造記念館は障がい者にやさしくない。車椅子で2階に上がれない ⇒ バリアフリー化。</li> <li>・照明を明るく（暗い冬季も散策できるように）</li>   <li>○学生の動線（通学路）と街中回遊路のネットワーク化</li> <li>・学生（短大生、専門学校生）の通学路、まちなかの回遊路をつなげる。</li> <li>・駅を中心に学生の動線の有効利用（北：富山福祉短期大学・富山情報ビジネス専門学校、南：富山県立大学、西：小杉高校等）</li>   <li>○その他</li> <li>・南北の通路の確保。駅周辺の区画整備</li> <li>・市外からの来訪者の駐車場が足りない。 ⇒ 歩行者ネットワークのためにも駐車場を。</li> </ul>